

会報第17号
発行日 平成18年2月28日
発行・編集 V・G 概論
代表者 大岡成一
http://web3.ibj.co.jp/kirin

きりん V.G 概論だより

わがまち紹介 町家新町 工場野菜栽培・水気耕栽培 嶋上郡街 素盞鳴尊神社

【工場野菜栽培】

水気耕栽培

月日：06年2月16日
概論市町家新町85・1
協和株式会社ハイポニ
カ研修センター
土井修治販売部主任に
説明していただき、本日に
有難うございました。
ハイポニカ研修センター
は、素盞鳴尊神社の北西約
70mの所に大きなビニール
ハウスが見えてきます。
水気耕栽培（ハイポニ
カ）理論は、1963年
植物学者 野澤重雄氏が
発見した画期的な栽培方
法です。ひと粒のタネから
1万3000個ものトマ
トを実らせ、「巨大トマト」
として、「つくば博」でた
いへんな話題になったこ
とを思い出します。
また、家庭で手軽に出来
るホームハイポニカを開
発されるなど話題を呼ん
でいます。

今回、寒い冬場（2月）
にトマトがいつぱいの裁
培現場を見学しました。
1本のトマトから鈴な
りになっているトマトを
見て驚きました。
従来の農業技術は、人間
が植物をコントロールし
て栽培をしようとしてい
ます。
一方ハイポニカでは、植
物自体の潜在的生命力を
最大限に発揮できるよう
な環境を与えてやること
により、飛躍的に生産量を
上げようとしています。
土井氏の説明では、植物
に全てのストレスを除い
てやると、本来持っている



植物の力を発揮してこの
よつになること。
植物は土で育ちます。母
なる大地に抱かれて生物
が存在すると考えられて
います。このことは明白な
ことであり、きわめて当然
のことです。
ハイポニカは、そうした
常識を見直すことから出
発しました。ハイポニカは
農業の障害の一つに「土」
があると考えました。
土が生命の発育を阻害
する要因
・ 空気を保持しにくい。
・ 水分を均一に空気とバラ
ンスを取りながらの保持
・ 温度調節が困難である。
・ 根の伸長に対して物理的
な抵抗になる。（発育に対
して大きな抵抗になる。）
ハイポニカはこれらを改
善したものです。

【素盞鳴尊神社】

嶋上郡街

町家新町には、今城塚古
墳があり、この古墳の東約
400mの所に素盞鳴尊
神社（すさのおのみことじ
んじや）（古くは神郡社）か
み（み）（ありやし）と称した
神社があります。
この社より約百m東に
嶋上郡街（ぐんが）（ぐん）10

世紀摂津国嶋上郡の郡役
所（跡の遺跡があります。
素盞鳴尊（すさのおのみ
こと）神社が創建される前
は、「こじ」は郡の繁栄を願
う郡寺（芥川廃寺）があっ
たとされている。
郡寺は白鳳時代、七世紀
に創建され、平安時代中頃
まで続いたと考えられて
いる。
神社の鳥居をくぐると、
直ぐ右側に大きな石の「手
水鉢」が置かれているのが
見える。この石は近くの水
田から出土したといわれ
ており、郡寺の塔の心礎に
使われていたものである
とされている。
この心礎の大きさか



ら見ても想像できるよう
に郡寺には塔がそびえ立
ち、立派な堂宇が建てられ
ていたものと推測されて
いる。
大化の改新以降、地方に
郡県制度がしかれたとい
われている。この付近は



「郡家」と呼ばれているこ
とから、奈良時代に嶋上郡
の郡役所即ち「郡街（ぐん
が）」が置かれていたこ
ろではないかと考えられ
ている。
右の写真は南端から見

ホットとタイム

た「郡街跡」である。
レンガの敷いた所が「郡
街」の南側になり、表門が
あったとされる場所であ
る。「郡街」の南を通っ
ている街道から真っ直ぐ
に表門まで大路がつけら
れていたといわれている
S・O

人は信念と共に若く
疑惑と共に老ゆる
人は自信と共に若く
恐怖と共に老ゆる
希望ある限り若く
失望と共に老い朽ちる
（感動している詩の一節）
S・O

3月度行事予定

古代のロマンのまち：古首部地区

月 日：平成18年3月16日（木）13：00集合
集合場所：西武デパート2階・橋上入口・エレベータ前
行 先：昼神車塚古墳 乾性寺 伊勢寺 日吉神社
文塚 不老水 古首部察跡 伝説因法師跡

4月度行事予定

流水と歴史のまち：島本町

月 日：平成18年4月6日（木）10：00集合
阪急水無瀬駅北口集合 桜井駅跡 宝幢寺 ふれあいセン
ター 小鳥神社 百山稲荷 若山神社（昼休憩） 尺代
須賀神社 釈恩寺 水無瀬神社・離宮の水 阪急水無瀬駅